



目 次

第58回 金沢大学暁烏記念式記念講演 近代社会における宗教の役割 - 仏教とウェーバー - 愛知学院大学教授 立川 武蔵	2
ワシントン大学 (シアトル) 図書館を視察して 附属図書館長 鹿島 正裕	6
図書館ホームページからのサービス	8
データベースを使った研究業績の調べ方	9
学術情報リポジトリ KURA の現況	9
EU 資料展示 EU を知ろう!	10
本学教員著作等寄贈図書リスト (2007年1月～6月)	11
SciFinder Scholar の講習会を開催	12
としょかん日誌 (2007年2月～6月)	12



ワシントン大学 (スザロ) 中央図書館閲覧室

第58回 金沢大学暁烏記念式記念講演

近代社会における宗教の役割 仏教とウェーバー

愛知学院大学教授 立川 武蔵



1. 『ブッディスト・セオロジー』と いう方法

仏教は現代においてどのような思想を提供することができるのか。わたしはそのような観点からの仏教研究を「神学的研究」と名づけています。「神学」とは、自らの考え方と自らの時代への対応を一致させる研究をいいますが、わたしの考え方を講談社からシリーズとして発表しております。今日のお話はこのシリーズ第5巻の始めにあたります（『聖なるもの 俗なるもの ブッディスト・セオロジーⅠ』（2006）、『マンダラという世界 ブッディスト・セオロジーⅡ』（2006）、『仏とは何か ブッディスト・セオロジーⅢ』（2007）、『空の実践 ブッディスト・セオロジーⅣ』（2007. 8）、『ヨーガと浄土 ブッディスト・セオロジーⅤ』（2008. 3 予定）。

2. マックス・ウェーバーの方法

ドイツの宗教社会学者マックス・ウェーバー（1864～1920）には『宗教的現世拒否のさまざまな方向と段階の理論』という論文がありますが、この論文は、われわれが扱おうとしている否定の契機にかんする考察にとって示唆的です。ウェーバーは人間の行為を世界観、目標および手段という三要素の観点から考察しました。彼は宗教行為における倫理、特に否定的な態度をとる宗教的倫理を取り上げました。倫理にはかならず規制、つまりある種の否定が必要となります。ウェーバーは、宗教的現世拒否のさまざまな方向と段階について論じながら、「現世に対して否定的な態度をとる宗教的倫理がそもそもどんな動機から成立して、どんな方向に展開していったか。つまり、その考えられる意味は何だったのか。その理論的図式を構成しながら概観しておくことが適切かと思われる」（「宗教的現世拒否の様々な方向と段階の理論」『ウェ

「ウェーバー社会学論集」(濱島明・徳永恂共訳, 青木書店, 1971年, 232頁)と述べています。

さらにウェーバーは次のようにも述べています。

一方に神の意を介し神の道具として行為する実践的禁欲があり, 他方には行為ではなくて, 所有を意味する神秘主義の思弁的な救済所有がある。この救済所有の場合には, 個々人は神的なものの道具ではなくて, 容器であり, したがって現世的な行為は徹底して非合理的かつ現世的な救済状態にとっては, 危険な存在と見なされる(「宗教的現世拒否の様々な方向と段階の理論」『ウェーバー社会学論集』(濱島明・徳永恂共訳 青木書店 1971年 234頁)。

ユダヤ・キリスト教的な伝統にあって, 人間は, この地上において神が自身の国を作ろうとする際の道具である, とウェーバーはいいます。ここでは行為に肯定的, 積極的な意味が与えられています。しかし, 神の道具となって神の思召しに適う行為をなすためには, 人間は自分たちの行為のある側面に対しては否定の手を延ばさねばなりません。

3. 現世拒否の四つの態度

ウェーバーはさきほどの引用箇所が続いて宗教的現世拒否のさまざまな態度を次の四つに分けて述べています。すなわち(一)現世内禁欲, (二)現世逃避的瞑想, (三)現世逃避的禁欲および(四)現世内神秘主義です。

第一の現世内禁欲では, 行為の禁欲が現世的職業における労働によって, 被造物としての墮落を制御するように作用します。ピューリタニズムの場合には, 労働者であれ, 商人であれ, 神の国を実現するための道具なのでから, 自分

たちの職業なり労働が神の「おぼし召しに適うべきもの」であると同時に, 労働は神の命じた行為であると考えられます。ウェーバーのいう現世拒否とは, 禁欲というかたちの否定であって, 神によって創られた自然あるいは社会の存在そのものを拒否・否定することではありません。

第二の現世逃避的瞑想は, 例えば, 出家し, 家長の責任も捨てて, 現実の社会的人間関係に直接携わることなく, 個人的な精神世界の中に引きこもるかたちの宗教行為ですが, ウェーバーはこれを現世から逃避して瞑想に専念するといった種類の行為と名づけました。ヨーガ行者は家を捨て, 家族から離れ, 私有財産も持たずにひたすらヨーガに専念するのですが, 彼らはそのような代償を払ってでも, なお「お釣りがくる」ような, 何か「良きもの」が約束されていると思うからこそヨーガをするのです。世俗的な「財」あるいは繁栄に満足することなく, 「それを越えた何ものか」を望むのです。

第三の禁欲的態度にあっては, 第一番目の態度と同じように, 怠惰, 贅沢, 浪費などは否定を受けますが, 現実の社会生活を積極的に営むという態度からは引き下がります。例えば, 修道士たちは現世に身を置いています, 規律を守りながら禁欲的な生活を送ります。ヨーガ行者のように「神」を自分の身体の中に入れようとしません。

第四の現世内神秘主義は, 世界の中に身を置きながら神秘主義の方法を追求する人々の態度です。現世から完全に逃避してしまうのではなくて, 世界の中で社会人の一員として機能しながらも, その人の精神的世界においては神秘的な経験を求めるあり方をいいます。

後世, 大乘仏教のいくつかの部派は密教的な要素を強めます。インド大乘仏教のかなりの部分が密教(タントリズム)の要素を濃厚に有することになります。タントリズムにおいては,

ウェーバーのいう第四の態度が顕著です。僧侶たちの行き方に第四の態度の例を求めるまでもなく、俗人のヒンドゥー教徒たちはもちろんこの第四の態度を有しています。

4. ウェーバーの「器」という概念

ウェーバーの「器」という概念は宗教行為の理解について勝れて有効なのですが、ヒンドゥー教や仏教にそぐわない場合もしばしばです。例えば、ヨーガ行者の場合にはウェーバーのいう「個々人」は、究極的な意味では器ではありません。その器がなくなった時にこそ光が輝くのですから。外的に見れば行者の身体あるいは心の中のことですから、身体（あるいは心）を「器」と呼ぶことはできるかもしれませんが。しかし、ヨーガの伝統から考えるならば、器というものがあるかぎり、ヨーガ行者は光には接することはできないのです。また、ヒンドゥー教や仏教では、人が神の器ではなくて、神（世界）が人の器です。

ウェーバーは「個々人」といいますが、この個々人とはいったいどのような人のことでしょうか。ウェーバーはおそらくこの「個々人」という概念によって社会的に確立された人格を有する人間一人ひとりを指していると思われます。一方では、彼が「神の器」という場合には、キリスト教的な神をいうわけではなく、世界あるいは人間と本来自己同一的な聖なるものを「神」と呼んでいるのです。

もしもアジアの宗教においてキリスト教的な神観を有しながら、しかも神の器になるような個々人が存在するというような形態が見られたならば、ウェーバーのいう現世拒否の四形態はまたよりいっそうの普遍性を有したことでしょう。しかし、アジアではウェーバーのいう「個々人」はいないのかもしれませんが。

5. 大乘仏教における現世拒否

第四の態度が、その後の大乘仏教の主流となりました。今日の大乗仏教徒がウェーバーのパラダイムの中で自らの位置を見出そうとするならば、第四の態度においてであります。ウェーバー自身はほとんど触れてはおりませんが、浄土教やタントリズム（密教）の発達にもなっており、大乘仏教では古典的ヨーガといった瞑想以外の方法が勢力を持つようになりました。例えば、浄土信仰やタントリズムに見られるような、「人格神」を崇拜対象とした実践方法です。それは非人格的な真理、例えば、中世原理としてのブラフマン（梵）を器としての体内において悟るというのではなくて、自分の外に立ち現れる仏教の神々、例えば阿弥陀仏とか、『法華経』の無量寿如来とか、密教の大日如来といった「神」に対する交わりであります。この種の崇拜形態は、「神の器となる」という特質づけが正しいとは思えません。

6. 世界宗教における宗教倫理

ウェーバーの四つの現世拒否の態度を説明する際に述べているのは世界宗教における宗教倫理です。ユダヤ・キリスト教的な伝統と、仏教ヒンドゥー的な伝統を対比させながら、世界あるいは現世に対して否定的な態度を取る場合のありかたを彼は述べています。ウェーバーは社会におけるキリスト教者、ヒンドゥー教徒あるいは仏教徒が自分たちの宗教的財を求めるにあたって、社会にたいしてどのような態度をとったか、あるいは現世に対して拒否的な態度をとるなかで彼らのもとめる宗教的在、神の恩寵とか悟りとかをどのように求めていったかという視点から述べています。

しかし、ウェーバーの論究の中では、わたしには宗教の本質と思える聖なるものがいかにし

て可能なのかという問題は扱われていないように思われます。われわれは、宗教が現実社会のなかで機能していく場合には人々は現世すなわち世界に対してなんらかの否定的な態度を取らざるを得ないということを見ました。しかし、社会の中における人々が個人的な宗教行為の結果としての財を求めない場合には倫理的否定的態度は、ほとんど認められないということをお忘れしてはならないと思います。

つまり、ウェーバーが扱っている宗教形態は主として、すべて個人的な宗教的精神的形態、つまり神の恩寵による癒しとか長年にわたる修行によって悟りを開くとか何らかの精神的救済というものが問題になっている宗教なのです。しかし、われわれが宗教一般を扱うとき、あるいは宗教の本質はなにかというときには個人的な宗教的救済が問題にならない形の宗教の伝統をも無視することはできません。

7. 「聖なるもの」の根拠

われわれは宗教と呼ばれてきた人間の営みにおいては、否定的契機が聖なるものを顕現させる際には重要なものであることを見てきたのですが、その否定的契機の「以前に」あるいはそれを超えて「聖なるもの」の存立を認めているのです。われわれがこれまで述べてきたような「否定の手」が「聖なるもの」の顕現を現実的なものとするのがあったとしても、その「否定の手」が「聖なるもの」の存立の根拠であるわけではありません。ウェーバーが考察した現世拒否の四つの態度は、宗教という形態の存立が社会的に認められ機能しているということをお疑いなく、それを前提として宗教倫理を問題にするのです。いいかえるならば、ウェーバーは人々がそれぞれの宗教に基づく否定的倫理

を問題にしているのであって、その倫理的行動に駆り立てている「聖なるもの」そのものについて考察しているわけではありません。

聖なるものと人間の否定的倫理とが別個のものであることはキリスト教においては仏教におけるよりもよりいっそう明確です。すなわち、キリスト教において否定的倫理が「聖なるもの」の成立根拠ではないことは明らかです。ウェーバーの現世拒否の四つの態度にかんする考察は、人間が歴史の中で「聖なるもの」である神に対してどのような行為をなしてきたか、あるいはなそうとしているか、についてかなり実質的な考究ではありますが、人々にそのような態度を採らせてきた何なのか、それが神であれ、悟りであれ、それが人間にとってどのようなものなのか。そうしたものは、これからの人間にとって必要なのか否か、という問題にはウェーバーは答えようとはしません。ウェーバー自身、宗教とは何か、という問題に正面から関わっているわけではないと思われま

立川 武蔵

TACHIKAWA Musashi

名古屋市生まれ、愛知学院大学文学部国際文化学科教授、国立民族学博物館名誉教授。名古屋大学文学部哲学科（印度哲学）卒、ハーバード大学大学院修了。名古屋大学文学部教授、国立民族学博物館教授を歴任後、2004年4月から現職。

専門は、アジアの宗教文化、インド学、仏教学。『空の思想史』講談社 2003. 6
『般若心経の新しい読み方』春秋社 2001.
12 他著書多数

ワシントン大学(シアトル)図書館を視察して

附属図書館長 鹿島正裕



ワシントン大学(スザロ)中央図書館前景

全支出3,600万ドル、つまり約15億円と43億円で、内寄付金が1.6億円ほど。これらの数字は、金沢大学より学生数・教員数・図書館蔵書数及び資料費は4倍前後にとどまっているが、図書館正規職員数は、なんと10倍以上に及んでいる。寄付金は、金沢大図書館に限らず、日本の大学図書館では積極的に集めることができずにいる。ワシントン大図書館は、2004年に全米優秀大学図書館賞をもらったそうだから、アメリカの大学図書館が皆これほど充実しているわけではないのだろう。

ワシントン大学とは

文部科学省の国際化推進事業補助金をいただいて2007年2月中旬より3月下旬にかけてワシントン大学に客員研究員としてお世話になり、国際学教育や国際交流活動の調査と国際関係論講義の研修をした際に、図書館をよく利用し、リザベス・ウィルソン館長とお話することができた。金沢大学附属図書館のあり方とは想像以上に違っていたので、以下に簡単な報告を行い、読者の参考にしていただこうと思う。

同大学は、ワシントン州の州立大学で、1861年創立、学生数は学部生が31,500人、大学院・専門職プログラム生が11,500人ほど、教員は3,500人、教職員総数は25,500人(明らかに非常勤を含め)という大組織である。その図書館は、中央館以外に学部生用図書館(授業教科書、自習室、パソコン・ラボなど)、諸専門図書館(日本の図書などを集めた東アジア図書館を含め)、地方の2キャンパス図書館など24施設を持ち、書籍664万冊、定期刊行物56,000種を擁する。職員は、司書150人ほどを含め正規が500人ほど、学生のパートタイマーも500人ほど雇用している。年間運営費は資料費1,250万ドル、

金沢大学との違い

こうした数字にも表れている、両大学の大きな相違点をまとめてみよう。第一に、図書館長が、私のように教員の兼職ではなく、職員(専門司書)の本務になっていること。ウィルソン女史は、北米専門司書協会によって2007年の最優秀専門司書に選ばれたそうで、ワシントン大学でも、部局長会議(Board of Deans)の議長として重用されている(教授以外が議長になったのは初めての由)。専門司書は大学の蔵書の選択・収集を任されており、各専門分野で修士号や博士号を持つ専門家で、地位が高いのだ(この点については次項で述べる)。図書館の運営については、7人の副館長からなる「キャビネット」と、25人の中間管理職からなる「カウンシル」の助けを受けており、また15人の教員からなる「ファカルティー・カウンシル」が資料収集に協力しているようだ。

第二に、大学の資料収集予算は100%図書館が管理しており、教員個人には分配されていないこと。専門司書たちが、教員・学生の要望を聞きながら、書籍や雑誌の選択・購入を行っており、したがって各分野の研究・教育に必要な

資料が体系的に収集されている。例えば、私が調べた国際学関連図書は各国言語による専門書を揃えており、非常に充実している（専門司書150人が、合計70以上の外国語に通じているそうだからそのようなことができるのだろうが、もちろん国際学に限った話ではない）。金沢大学では、教員の研究テーマ関連図書のみがその教員の研究室にあるのが普通だから、学生が図書館に行ってもあまり専門書はないし、教員も金沢大学着任後、自分の研究テーマに関わる文献を自分で収集しなければならない。ワシントン大学では、専門司書が教員・学生の希望する研究テーマについて、参考文献を探し、見つけ、必要なら購入するといったサービスを行っており、彼らなくして同大学の研究・教育は成り立たないわけだ。

このように研究・教育に役立つ大学図書館を創り上げるには巨額の予算が必要で、寄付金集めに熱心なのが第三の違いである。副館長の一人は寄付金集めの専従だそうで、だいたいワシントン大学は学長にしてからが研究・教育に優れた教授ではなく、行政と資金集めの専門家を州知事が任命している（北米の大学ではそうした学長が普通なようだ）。大学全体の資金集めとは別に、図書館も「図書館支持者(advocates)カウンスル」というボランティア委員会を通じて寄付金を募り、2005 - 2006年度に134万ドル集めた由だ。その内訳は、卒業生44%、友の会16%、企業15%、財団14%など。卒業生はワシントン州出身者が多いだけに愛校心、愛郷心が強いのだろう。また、図書館が（金沢大学同様）市民に開放されていて、誰でも自由に入館して図書を閲覧できる（借用や電子ジャーナルの利用には制限があるが）ので、市民が大学図書館を自分たちの公共財と感じられるのかもしれない。

第四に、図書館がメディア利用教育を担っていること（金沢大学ではメディア基盤センターと図書館がその仕事を分担している）。機関リポジトリは両大学にあるが、ワシントン大では現在学術データの提供が中心だそうで、金沢大学のリポジトリ KURA で現在コンテンツの中

心となっている大学紀要論文は、ワシントン大にはそもそも存在しない。北米の学術雑誌は、一部の大学出版局や民間の出版社が刊行しているからである。図書館長によると、それらに掲載された論文の「著者最終稿」の提供を呼びかけているが、教員は忙しいし面倒なのでなかなか応じてくれない、そこで学生の修士論文や博士論文を載せようとしているとのことであった。

図書館長への質問の最後に、「いわゆるデジタル化によって、学生が図書館に来なくても情報が得られるようになってきているが、図書館の今後の役割をどう考えるか」と伺ったら、「それはむしろ好機だと考える。情報を得るだけなら図書館に来なくても、自宅のパソコンでもできるかもしれないが、図書館は人々が集まって共に研究したり議論する場を提供できるし、今後そういう役割に力を入れるべきだ」とのことであった。

日本の大学図書館

金沢大学図書館も機械化・デジタル化などの技術面では負けていないと思われたが、蔵書、専門司書による研究・教育支援の面では残念ながら太刀打ちできない。大学そのものの人的・財政的規模が大きく異なるために、図書館の人員や資料費予算の規模もとうぜん異ならざるを得ないが、そもそも図書館の役割の概念がさうとう違う。あるいは理系では、電子ジャーナルを多数契約してあればよいのかもしれないが、文系では国内外の専門書の収集を専門司書に委ねるという発想自体、日本の大学図書館にはないと思われる。たとえばJETRO アジア経済研究所の図書室では、文献収集のために専門家を雇用しているが、総合大学の図書館がそのようなことをしようとするれば、ワシントン大学のように150人なりの専門司書を雇用する必要がある。本学図書館も司書を20名擁するとはいえ、量質共に抜本的に改善しなければならない。ともあれ、学生諸君は、レポートや卒業論文を書くための文献収集に際しては、図書館職員に遠慮なく相談していただきたい。

図書館ホームページからのサービス

平成19年3月の図書館システムの更新に伴い、附属図書館のホームページから以下のサービスを利用する際に使うIDが総合メディア基盤センターで発行する「ネットワークID」に統合されました。平成18年度まで利用していたWebIDは使用できなくなりました。

図書購入依頼（教職員のみ）
ILL 文献複写・図書貸借申込
貸出・予約状況確認
予算執行状況確認（教職員のみ）
希望図書購入
利用者情報変更

1. ネットワークID・パスワードの取得

(1) 教職員の場合

総合メディア基盤センターの次のサイトから登録して下さい。職員番号が必要です。

金沢大学統合アカウント管理システム

<https://ias-web.kanazawa-u.ac.jp/staff/index.do>



(2) 学生・大学院生等の場合

ネットワークID登録用のパソコンは、総合メディア基盤センター2Fラウンジ、総合教育棟等に設置されています。登録の際には、「学生証」が必要です。登録用パソコン（磁気カードリーダー付き）を操作し、ネットワークIDとパスワードを登録してください。

詳細は、[総合メディア基盤センターホームページ] [学生用ネットワーク(STU-KAINS)]をご参照ください。

<http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp/stu/>

登録用パソコンは以下の場所に配置されています。

総合メディア基盤センター、総合教育棟、医学部分館、保健学科学務係、保健学科図書室

2. サービス内容

OPAC画面左のメニューから「ログイン」をクリックし、ネットワークIDとパスワードを入力してください。



認証されると以下の項目を選択できます。

- 図書購入依頼（教職員のみ）
公費、科研費等による購入依頼ができます。
- ILL 文献複写・図書貸借申込
金沢大学にない図書を他大学等から借用したり、文献複写物を取り寄せたりすることができます。私費もしくは公費を選択できます。
- 貸出・予約状況確認
現在借りている図書の返却期限などを確認できます。貸出期限の延長も行えるようになる予定です。



• 予算執行状況確認（教職員のみ）

「図書」「雑誌」「製本雑誌」「ILL」の各依頼での執行額明細を確認できます。

表示期間、予算、資料種別を選択してから「集計する」ボタンをクリックしてください。



• 希望図書購入

図書館に備え付けて欲しい図書のリクエストが行えます。すべてのご希望にお応えできるとは限りませんが選書の参考にさせていただきます。

・利用者情報変更

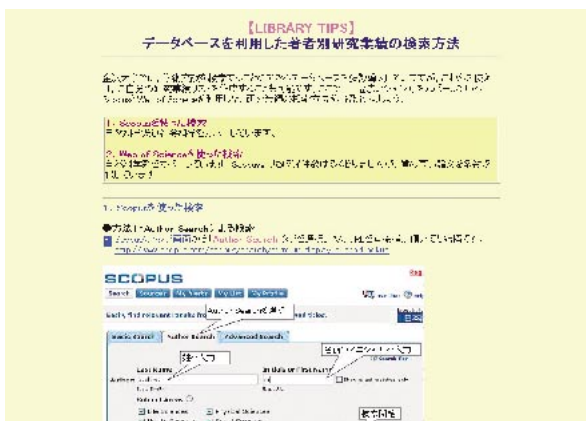
図書館に登録されている連絡先を変更することができます。住所、電話番号、メールアドレスに変更があった際は必ず再登録してください。

データベースを使った研究業績の調べ方

本学では、文献情報を検索するためのデータベースを多数導入しています。また、本学で購入している電子ジャーナルであれば、検索結果からのリンクで直接閲覧可能なシステムも導入済みです。これを Article Linker と呼びます。これらのデータベースを巧く使えば、簡単に論文等の研究業績のリストを作成することができます。

以下のページに Scopus と Web of Science という幅広い学問分野をカバーするデータベースを利用した研究業績の検索方法をまとめましたので、お試下さい。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/tips/achievement/>



Scopus <http://www.scopus.com/>

- ・エルゼビア社提供の学術情報データベース
 - ・4,000以上の出版社の15,000誌以上の雑誌を収録
 - ・2,900万件以上の抄録を搭載
 - ・MEDLINE のデータを100%カバー
 - ・1996年以降の論文には参考文献間のリンクあり
 - ・毎年110万件以上のデータが追加されます。
- Web of Science <http://portal.isiknowledge.com/>
- ・トムソン社提供の高品質な学術雑誌のみを厳選して収録した学術情報データベース
 - ・引用文献をキーに文献間の引用リンクをたどることが可能
 - ・本学では、Science Citation Index Expanded が利用可能（自然科学系の150以上の学問分野から約5,900の高品質な学術雑誌を収録。1990年～現在）
 - ・毎年約100万件のデータが追加されます。
 - ・学術雑誌のインパクトファクターを調べられる JCR (Journal Citation Reports) やより詳細な研究業績の分析が可能な ESI (Essential Science Indicators) も併せて利用可能です。

学術情報リポジトリ KURA の現況

昨年6月に運用を開始した金沢大学学術情報リポジトリ KURA につきましては、皆様のご協力もあり、順調に登録件数、利用件数を伸ばしています。その現況についてご紹介しましょう。

TOPIC 1 . 登録件数5,000件突破

KURA の登録件数が5,000件を超えました。その内訳は、学内紀要類と学術雑誌発表論文が中心です。

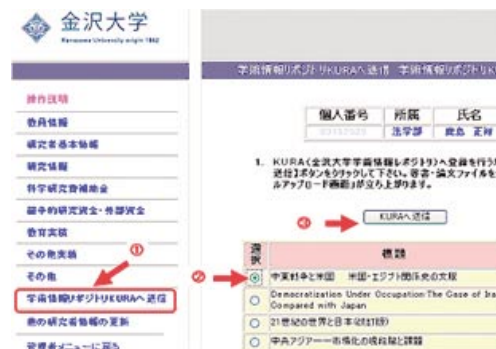
紀要論文	学術雑誌論文	学位論文	報告書等	その他	合計
860	4,141	7	582	170	5,760

(2007年7月17日現在)

今後、教育研究等実績データベース(業績DB)との連携による学術雑誌論文登録手順の簡略化、紀要の電子ジャーナル化、学位論文登録の推進などを進めて行く予定です。

TOPIC 2 . 業績データベースと連携

既に稼働済みの業績DBからKURAへ論文の全文ファイルを以下のようなイメージで送信することができるようになりました。



業績DBにログイン後、「学術情報リポジトリ KURA に送信」ボタンを押して頂くと簡単にデータを送ることが可能です。詳細は以下のページをご覧ください。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/kura/kendbachievement/>

TOPIC 3 . Scirus / Scopus から検索可能に

KURA の内容が、エルゼビア社の学術情報検索エンジン Scirus 及び Scopus から検索可能になりました。

Scopus で検索を行った場合、KURA にヒットすると「KURA」と書かれたタブの下に検索結果が表示されます。

(参考) Scirus <http://www.scirus.com/>

EU 資料展示 EU を知ろう！



欧州委員会が設置したEU情報センター（EU i，旧称：EU資料センター）は、現在、世界各地に約500、日本国内には18あります。EU情報センターでは、EU官報、条約、報告書、統計資料などのEU公式資料や、各政策分野についての広報資料を所蔵しています。金沢大学EU情報センターは1985年に設置され、中央図書館3階に、図書約2,500冊、雑誌約300タイトルが配架されています。

今年は、ローマ条約50周年というEUにとっての節目の年であり、金沢大学EU情報センターにおいても、日・EUフレンドシップウィークの一環として、EU資料展示『EUを知ろう！』を開催しました。

展示は、5月21日（月）～6月3日（日）の2週間、中央図書館閲覧ホールで行いました。EUに親しみを持ってもらうこと、また金沢大

学EU情報センターの利用を促進することを目的として、手軽にEUを知ることができる資料を中心に展示しました。

展示内容は、EU関連図書をはじめ、年表、ポスター、地図、パンフレット、ユーロ、EU旗などで、中でも各国別のデザインがあるユーロ硬貨が来場者の興味をひいたようです。また、入口正面に飾った、鮮やかな青いEU旗は、みなさんの心にEUへの関心を芽生えさせたのではないのでしょうか。

アンケートの結果からは、金沢大学EU情報センターの存在を知らなかったという回答が3分の2近くもあり、センターが周知されていないという実態が明らかとなりました。今後も展示や講演会などを行ってはどうかという提案も多く寄せられ、これらのご意見をもとに、EU情報センターを多くの方々に利用していただけるよう取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の展示を実施するにあたって、EU関連図書、ユーロ、EU旗など多くの資料の提供とご協力をいただきました経済学部の上条先生に心より御礼申し上げます。



EUグッズ抽選会

ありがとうございました

本学教員著作等寄贈図書リスト

2007/1 ~ 6

- 田崎和江（理学部教授）共編著
私たちは何を学んだか？：ナホトカ号重油流出事故から10年
金沢大学21世紀 COE プログラム 2006 . 12
(図書庫519:N163)
- 清水邦彦（文学部准教授）共同執筆
徹通義介禅師研究：大乘寺開山徹通義介禅師七百回遠忌記念
大乘寺 2006 . 12
(図開架188 .82:A997)
- 志村恵（文学部准教授）共同執筆
宗教者が語る死刑廃止
現代書館 2006 . 12
(図開架326 .41:S562)
- 永坂鉄夫（名誉教授）共著
熱から脳を守るしくみ：マラー的脳冷却学
能登印刷出版部 2006 . 12
(図開架491 .371:N147)
- Dear kids - one and all
前田書店 2003 . 11
(自然系図開架049:D285)
- 永坂鉄夫（名誉教授）共同執筆
それぞれの半世紀：名古屋大学医学部昭和32年卒業クラス会：王木会文集
王木会 2007 . 3
(医図書 W9 :S713)
- 結城正美（外国語教育研究センター准教授）共同執筆
概説アメリカ文化史
ミネルヴァ書房 2002 . 4
(図開架253:S252)
- ロマンティック・エコロジーをめぐって
英宝社 2006 . 12
(図開架904:R756)
- 大久保英哲（教育学部教授）共著
多様な身体への目覚め：身体訓練の歴史に学ぶ
アイオーエム 2006 . 10
(図開架780 .2 :T247)
- 山本一（教育学部教授）校注
歌論歌学集成 第7巻
三弥井書店 2006 . 10
(図書庫911 .101:K18:7)
- 岡田晃（名誉教授）著
続々白駒の郤
岡田晃 2007
(図書庫490 .4 :O41:3)
(医図書 W9 :O41:3)
(自然系図開架490 .4 :O41:3)
- 恵土孝吉（名誉教授）著
剣道の科学的上達法
スキージャーナル 2007 . 3
(図書庫789 .3 :E24)
- 藤田暁男（名誉教授）著
協働と環境の社会経済論：生活と事業体の「持続可能性」を求めて
晃洋書房 2007 . 2
(図書庫519:F961)
- 楠根重和（法学部教授）
西嶋義憲（経済学部教授）
足立英彦（法学部准教授）共編
Socio-cultural transformation in the 21st century? Risks and challenges of social changes
金沢電子出版 2007 . 3
(図書庫361:S678)
- 足立英彦（法学部准教授）共同執筆
よくわかる法哲学・法思想
ミネルヴァ書房 2007 . 5
(図書庫321 .1 :Y54)
- 清水まさ志（非常勤講師）著
L'inspiration nordique de Baudelaire
駿河台出版 2005 . 12
(図書庫951:S556)
- 守屋哲治（教育学部教授）共同執筆
英語多義ネットワーク辞典
小学館 2007 . 3
(図参考833:E34)
- 岩田礼（文学部教授）共同執筆
佐藤進教授還暦記念中国語学論集
好文出版 2007 . 4
(図書庫820 .4 :S253)
- 榊原千秋（大学院医学系研究科助教）共編
いまここにふく風とともに：ALS と仲間達10周年記念冊子
ALS と仲間達 2006 . 9
(図開架493 .64:I31)
(医保図書室493 .64:I31)
- 愛かもしれない
[ALS と仲間達] 2006 . 5
(図開架767 .8 :CD1789 - 1790)
(医保図書室767 .8 :CD13 - 14)
- 奥田晴樹（教育学部教授）著
明治国家と近代的土地所有
同成社 2007 . 4
(図書庫210 .61:O41)

SciFinder Scholar の講習会を開催 (6月13日)

自然科学系図書館のG1階AVホールでSciFinder Scholarの講習会を行いました。49人の参加があり、化学情報協会の担当の方から、検索方法や画面の見方、機能の使い方などについての説明を受けました。

SciFinder Scholarは、冊子体Chemical Abstractsに代わり、2006年1月に導入されたオンライン検索サービスで、化学を中心とする医薬、生化学、物理、工学などの科学情報を検索することができます。ご利用の際には、専用ソフトウェアのインストールが必要になります。また、「同時アクセス数1」での運用となっておりますので、必ずWebでご予約のうえ、お使いください。皆様のご協力をお願いいたします。

詳細は以下のWebをご覧ください。

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/db/scifinder/index.htm>



講習会の様子

としょかん日誌 (2007年2月～6月)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|
| 2月7日 | 平成18年度目録システム/ILLシステム講習担当者会議に出席(国立情報学研究所)巖本康治(コンテンツ第一係長) | 5月15日 | 学術ポータル担当者研修打合せに出席(学術総合センター)内島秀樹(情報企画課副課長) |
| 2月8日 | DRF第2回ワークショップに参加(早稲田大)橋洋平(情報企画係長),中村律子(医学部分館係) | 5月21日 | 目録システム講習会模擬演習に参加(国立情報学研究所)守本瞬(医学部分館係長) |
| 2月21日 | 第3回レファレンス共同データベース事業参加館フォーラムに参加(国会図書館関西館)橋美穂(相互利用係長) | 5月22日 | 機関リポジトリ作業部会に出席(国立情報学研究所)木下聡(情報企画課長) |
| 2月25日 | EUi Training Sessionsに参加(日本大)橋美穂(相互利用係長) | 5月23日 | 第28回EUiセミナーに参加(慶應義塾大)谷口貞治(相互利用係長) |
| 3月9日 | 電子情報環境下における大学図書館機能の再検討成果報告会への参加(筑波大)野田晶子(コンテンツ第二係) | 6月7日 | 国立情報学研究所オープンハウス2007に参加(学術総合センター)由良信道(情報部長) |
| 3月15日 | 平成18年第6回「学術コンテンツ運営・連携本部機関リポジトリ作業部会」会議に出席(国立情報学研究所)木下聡(情報企画課長) | 6月21日 | 平成19年度石川県大学図書館協議会定例会議及び講演会に出席(金沢学院大)谷口貞治(相互利用係長) |
| 4月13日 | 平成19年度図書館協力業務・ネットワーク担当者会議に出席(石川県生涯学習センター)谷口貞治(相互利用係長) | 6月25日 | 学術機関リポジトリ講習会講師として参加(富山大学)内島秀樹(情報企画課副課長),橋洋平(情報企画係長) |
| 4月26日 | 第58回北信越地区国立大学図書館協会に出席(名鉄トヤマホテル)鹿島正裕(館長),由良信道(情報部長),木下聡(情報企画課長),川添真澄(情報サービス課長) | 6月27日 | 第54回国立大学図書館協会総会に出席(JALリゾートシーホークホテル福岡)鹿島正裕(館長),由良信道(情報部長),川添真澄(情報サービス課長) |

金沢大学附属図書館報「こだま」第163号

発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会
〒920-1192 金沢市角間町 電話 076 264-5200
ホームページURL <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>
電子メールアドレス etsuran@ad.kanazawa-u.ac.jp

2007年7月31日発行
印刷：株式会社 橋本確文堂